

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	画像処理学特論		
英文授業科目名	Advanced Image Processing		
開講年度	2004年度	開講年次	
開講学期	前学期	開講コース・課程	博士前期・後期課程
授業の方法		単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-情報通信工学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	情報通信工学専攻		
担当教官名	小林 光夫・小田 弘		
居室	小林：西9-513、小田：総合研究棟925		

公開E-Mail	授業関連Webページ
koda@ice.uec.ac.jp	http://www.color.ice.uec.ac.jp/

【主題および達成目標】
<p>人間が外界から得る情報の大部分が視覚によるものと言われている。そして、視覚によって脳内に作られる原始的な情報の表現が画像である。画像のもつ意味の理解および意味をもつ画像の生成は、人間の視覚コミュニケーションにとって必須であろう。画像のモデル化やその処理のアルゴリズムは、工業技術のみならず教育や美術へも応用される。</p> <p>本講義では、画像処理の工学的な基礎（デジタル化、変換、分類、符号化など）のうえに、近年重要視されている色彩情報処理（表色系、色再現、特徴抽出など）について、講述する。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
数学

【前もって履修しておくことが望ましい科目】

【教科書等】
<p>[1] 川上元朗：色のおはなし，日本規格協会，1992.</p> <p>[2] 大山正：色彩心理学入門，中公新書，1994.</p> <p>[3] 金子隆芳：色の科学，その心理と生理と物理，朝倉書店，1995.</p> <p>[4] 太田登：色彩工学，東京電機大学出版局，1993.</p> <p>[5] 太田登：色再現工学の基礎，コロナ社，1997.</p>

電気通信大学 平成16年度シラバス

【授業内容とその進め方】

具体的な内容として、
色とは何か、視覚と色覚、表色系と色空間、画像の色再現、
色彩画像の抽象化、美術作品・博物館資料の色彩分析
などを話題とします。
授業の形態として、講述形式をとるか、輪講形式をとるか、受講者の人数によって決めたいと考えています。

【成績評価方法および評価基準】

試験、またはレポートによる。

【オフィスアワー：授業相談】

随時

【学生へのメッセージ】

勉強してください。授業がその手助けになることを祈っています。